

令和六年特別公開

ユネスコ無形文化遺産登録

佐陀神能

Sada Shin Noh,
sacred dancing at Sada shrine

現代に継承される出雲神樂

写真撮影 佐藤 俊和

公開日 令和6年

5/18(土)

7/13(土)

9/14(土)

時間 19:00 ~ 20:30

※演目内容によっては10分程度遅くなる場合があります。
※都合により演目が変更になる場合があります。
※会場での写真撮影はできません。予めご了承ください。

会場 佐太神社 舞殿 島根県松江市鹿島町佐陀宮内73

席料 個人 2,000円 団体 1,800円(20名以上)
(※中学生以下無料)

【予約制】※定員に満たない場合は当日も可
募集人数 各100名

ご予約方法

下記申込先までお電話にてご希望の日をご予約ください

※個人受付：実施日の前日16時まで ※団体受付：実施日の7日前まで

個人
団体

【お支払い方法】 現金・銀行振込

(一社)松江観光協会より後日、請求書を発送させていただきます

※ お客様のご都合によるお支払い後キャンセル・払い戻しは一切できません。
※ 日程の変更は可能です。お問い合わせください。
※ 各地から佐太神社までは、お客様ご自身で移動をお願いいたします。
タクシー等のお手配をご希望の場合はご予約の際にご相談ください。
※ 路線バスの臨時運行はございません。

主催 一般社団法人 松江観光協会

後援 佐太神社・島根県・島根県教育委員会・松江市・松江市教育委員会・公益社団法人 全日本郷土芸能協会

交通アクセス



お申込み・お問い合わせ先

一般社団法人 松江観光協会 ☎ (0852) 27-5843

島根県松江市中原町19 ※営業時間8:30~17:15 (土、日、祝、年末年始 休業)
FAX(0852) 26-6869 E-mail:mail@kankou-matsue.jp



御座替祭と佐陀神能

七座神事・式三番・神能の三部構成



佐太神社の御座替祭は御本殿三社をはじめ摂末社すべての御神座の莫座を取替えるお祭りです。御神座の莫座を新しく取替えることで神々の霊威が常に新しく続くとされ当社の数ある祭りの中でも最も重義とされ年毎の遷座祭ともいえる祭りです。

九月二十四日 莫座を清め神々をお招きする為の七つの舞からなる「七座神事」、

翌二十五日は御法案として「式三番」、「日本書紀」の神話や神様の功績などを題材とした「神能」を舞殿にて執り行います。古くはこの祭に佐陀触下三群半の神職・巫女が参集奉仕する慣わしで「役目能」といわれていました。現在では佐太神社及び近郷諸社の神職と松江市内の有志による佐陀神能保存会によって伝承しています。

七座神事・式三番・神能を執り行う形式は近世初頭に当社で確立され、その形式は出雲国内の神楽はもとより多くの里神楽に影響を与えたと云われています。これらの神事舞を「佐陀神能」と呼んでおり、昭和五十一年国の重要無形民俗文化財に指定され、平成二十三年にユネスコの無形文化遺産に登録されています。

令和六年 佐陀神能 特別公開演目

七座神事 八乙女 やおとめ
神なごめの舞



五月十八日(土)

神能 恵比須 えびす

出雲國素戔(すが)の里の神主が津國西宮へ参詣した際、事代主命が現れ田疇を物語る



神能 武甕槌 たけみかづち

神話の「國譲り」に取材した演目



七座神事 清目 きよめ
斎場を清める舞



七月十三日(土)

神能 八重垣 やえがき

素戔鳴尊の八岐大蛇退治を題材とした演目



番外 山神祭 さんじんさい

天照大御神が御隠れになった磐戸の前で湯立神事を行う為に必要な神を探す物語



七座神事 勸請 かんじょう
神の降臨を願う舞



九月十四日(土)

七座神事 手草 たぐさ
降臨した神を鎮める舞



神能 三韓 さんかん

「日本書紀」に取材した神功皇后による異国征伐の物語



写真撮影 阿禮 / 佐藤 俊和